

旭川高砂台

人工呼吸器装着患者を幅広く受け入れ

慢性期病院が支えるもう一つの急性期医療

旭川市の旭川高砂台病院（横山恵一理事長・104床）は、他の多くの医療機関では受け入れが難しい人工呼吸器を装着した患者の受け入れを積極的に行っている。多職種によるチーム医療で、人工透析、終末期まで幅広く対応。患者家族への支援も充実している。診療報酬制度が想定する「急性期チーム医療」の枠を超えたものであり、地域医療における重要な役割を担っている。

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話

「人工呼吸器装着患者」すの、2023年6月からは、在宅での家族によるから同院に転院した呼吸器ケアが困難で、急性期病器専門の奥村俊介医師院にも長期入院できなかった。同病院で受け入れていない患者を受け入れることを重視している」と話



多職種チームで寄り添う医療を展開